



体験活動で子どもたちに感動と生きる力を



第79号

発行/熊本県子ども会連合会

発行者/松尾 博之

☎ 862-8609

熊本市中央区水前寺6丁目18-1

熊本県教育庁社会教育課内

TEL (096)383-9538

FAX (096)383-9548

URL: <https://www.kodomo-kai.or.jp/kumamoto/>

県子連情報 子ども会

新体制スタート



熊本県子ども会連合会

会長 松尾 博之

熊本県子ども会連合会関係者の皆様には、日頃より本会に対しご理解とご協力を賜りますこと厚く御礼申し上げます。私は昨年の県子連総会にて丸山康昭会長の後を引き継ぎ新会長を仰せつかりました前天草市子連会長の松尾博之と申します。子ども会活動二十七年目となります。

前会長があまりにも偉大で後任として躊躇いもありましたが、全ては子ども達の為、精一杯会員のために力を尽くして行く所存でございますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、「子ども会」が設立され早や半世紀を超え、課題を抱えながらも中身も充実したものとなってまいりましたが、一方では少子化の波が押し寄せ、各地域の子ども会の会長さま方も大変ご苦労されていることと思います。

少し古い話になりますが、私が子どもの頃、子ども会は多くの子ども達で溢れかえっていました。子ども達はみんな外で遊び、自然と目上の子どもが下の子を見守るような不文律が出来上がっていました。近所のおじさんおばさんは、知らない子どもでも優しくお世話してくれたり、容赦なく叱ってくれたり、地域中が家族のようなお付き合いをしていました。

単位子ども会では、春には家族全員参加のお花見、夏には海水浴やキャンプ、秋には十五夜の綱引きや相撲大会、そして秋祭りの神輿担ぎ、冬には

クリスマス会や鬼火焼きなど多くの行事で子ども達を楽しませてくれました。当時、家々はそんなに裕福でもなく共働きも多かったように思いますが、それぞれに少しづつ心と時間に余裕があったように感じます。

私の子ども時代はそのような環境の中で、思い出に残る活動をして頂いたことに心から感謝しています。私が今、このように三〇年近く子ども会活動をさせて戴いているのは、そのような布石があったからでございます。

私は、子ども会の基本はやはり単位子ども会だと思っています。しかし今の子ども会の現実、子ども達に色々な経験をさせたいが子どもの人数が足りない、お世話をしてくれるスタッフが少なく、活動のための予算が無いなど、多くの問題に直面されているのではないかと推察いたします。

我々熊本県子ども会連合会は、今だからこそ、思いはあるが中々自力での事業が出来ない地域の子ども会と共に知恵を出し合い、協力し合って無限の可能性を秘めた子ども達に「お節介なおじさんおばさん」として様々な経験の場を与え続ける必要があるのではないかと考え活動しています。

熊本県子連は子ども達、そして保護者の皆様、行政、県子連役員・理事全員が会員であり仲間でもあります。どうぞそのことをご理解頂き、「全ては子ども達のために」を合言葉に、共に汗を流して頂きますようお願い致します。

最後になりますが、県下各地域の子ども会のご隆盛と全ての子ども達の幸せと健やかな成長をお祈り申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。

令和七年三月吉日

60周年記念事業盛大裡に終える

記念講演

演題 「子ども会の未来に向けて」
～熊本県への提言

講師 全国子ども会連合会 会長
美田 耕一郎氏



令和6年5月25日 ホテル熊本テルサにて開催



60th anniversary あゆみ